



01 人間ドックと一緒にアレルギー検査が受けられます。



日本人の約2人に1人が何らかのアレルギー疾患を持っていると言われています。そこで、総合健診室ではアレルギー検査(MAST48 mix)をオプション検査として用意しています。対象は、当院健診室で健診を受ける成人の方で、オプション検査料金15,730円です。アレルギーが気になる方は、ぜひ一度ご検討ください。総合健診室 0533-95-0030 (平日 8:30~17:00)

アレルギー検査(MAST48 mix)の特徴

- 血液で検査ができます。
- 一度の検査で、アレルギーの主要な原因36項目(48種類)を調べることができます。
- 特定原材料7品目(加工食品への原材料表示義務のある卵・乳・小麦・落花生・エビ・カニ・ソバ)を全て検査することができます。

アレルギー検査項目一覧

食物アレルギー【22項目 24種類】

ミルク、小麦、卵白、オボムコイド、ゴマ、ソバ、大豆、米、ピーナッツ、サバ、マグロ、サケ、エビ、カニ、豚肉、牛肉、鶏肉、トマト、モモ、キウイ、バナナ、木の実ミックス(ヘーゼルナッツ、アーモンド、クルミ)

花粉アレルギー【7項目 13種類】

スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、ヨモギ、イネ科ミックス(オオアワガエリ、カモガヤ、ナガハグサ、ハルガヤ、ギョウギシバ)、ブタクサミックス(ブタクサ、オオブタクサ、ブタクサモドキ)

その他アレルギー【7項目 11種類】

ハウスダストI、アスペルギルス、カンジダ、ラテックス、ダニミックス(コナヒョウヒダニ、ヤケヒョウヒダニ)、イヌ・ネコ皮膚ミックス(イヌ皮膚、ネコ皮膚)、カビミックス(アルテルナリア、ペニシリウム、クラドスポリウム)

02 知っていますか? 「医薬品副作用被害救済制度」



「医薬品副作用被害救済制度」とは、病院や診療所で出された医薬品や、薬局やドラッグストアなどで購入した医薬品を正しく使用したにも関わらず、重い副作用が生じて入院が必要になったり、障害が残ったり、あるいは不幸にして亡くなった場合に、ご本人やご遺族に医療費や年金などが給付される公的制度です。

請求するためには、健康被害を受けた本人またはその家族が直接、PMDA(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)に請求する必要があります。この請求自体に費用はかかりませんが、「医師の診断書」や「投薬・使用証明書」が必要となるため、医薬品副作用被害救済制度の請求を検討

される際は、医薬品の処方先であるかかりつけの医師、医薬品の購入先である薬局の薬剤師にご相談ください。

また、請求に関する情報や請求用紙は、PMDAに問い合わせることも可能です。電話やインターネットから入手することができます。

PMDA(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

「救済制度相談窓口」

0120-149-931



PMDA 医薬品副作用

検索

03 ピアサポーターによるがんの相談会

がん患者サポートに関する総合的な研修を修了した「ピアサポーター」が、がんに関する情報提供やご相談に応じます。どなたでもご利用いただけます。予約は不要ですので、ご希望の方は直接お越しください。

- 日時：毎月第4水曜日 10時~12時
- 場所：2階中央エレベーター前
- 費用：無料
- 申込：直接、会場へ
- 協力：NPO法人ミーネット
- 問い合わせ：患者サポートセンター



NPO法人ミーネットは、行政や医療機関などと連携しながら、がんに関する情報提供や情報交流を通して、がん患者さんやご家族をサポートすることを目的として設立された団体です。

05 4月の行事食



4月の行事食「桜ちらし寿司」。ちらし寿司の起源には、江戸時代初期、お祭りごと以外の食事は「一汁一菜」と命じられたことに反発した庶民が、魚や野菜をご飯に混ぜ込んで見た目を「一菜」とした説の他、江戸時代後期に寿司職人のまかない飯として誕生したなどの説もあるようです。使用される食材にはそれぞれ意味があり、「エビ」は腰が曲がるまで長生きできるように、「レンコン」は遠くを見通せるように、「ニンジン」は根をはるように、「錦糸卵」は黄身と白身が金銀財宝を示すとされています。

皆さんも思い思いの食材を入れてオリジナルのちらし寿司を作ってみてはいかがでしょうか。その際は、豆腐やつみれなど、たんぱく質を含む食材を入れたすまし汁などを添えることで食事のバランスを整えることもできます。



04 カメラリポート



令和6年能登半島地震 DMAT隊・災害支援ナースを派遣

令和6年能登半島地震の発生に伴い、愛知県及び愛知県看護協会からの要請に応じ、DMAT隊及び災害支援ナースを派遣しました。被災地では、患者搬送業務や病棟業務、被災者の健康管理業務に従事しました。愛知県東三河南部・北部医療圏の災害拠点病院として、また、DMAT活動拠点本部が設置される当地域の中核病院として、今後も使命を全うしていきます。



DMAT
専門的な訓練を受けた医師・看護師等で構成され、災害発生直後から活動できる機動性を備えた医療チーム。

がんを通して命の大切さを学ぶ 愛知県がん教育総合支援事業

当院では、愛知県がん診療拠点病院として、がん治療はもとより、がんに関する教育活動等に取り組んでいます。この度、愛知県がん教育総合支援事業として、がん教育に関する講義の依頼があった市内小学校2校に対し、当院の看護師を講師として派遣しました。講義では、がんに関する基礎知識、予防方法や検診など医学的根拠に基づく説明に加え、患者さんががん治療とどう向き合っているかを伝えました。参加した児童らは、医療現場の最前線に立つ看護師の話を真剣に聞きながら、健康や命の大切さを学んでいました。

